

食料・エネルギーの地産国消等の取組み事例紹介

- ①熊本のミカン産地の収穫作業の継続的な支援活動
- ②南阿蘇村との協定に基づく地域農産物の販売活動

2024年12月

東急建設株式会社九州支店

「建てる」を超え、未来を生み出す。



東急建設

①熊本市河内地方のミカンの収穫作業支援



有明海を望む石垣の段々畑

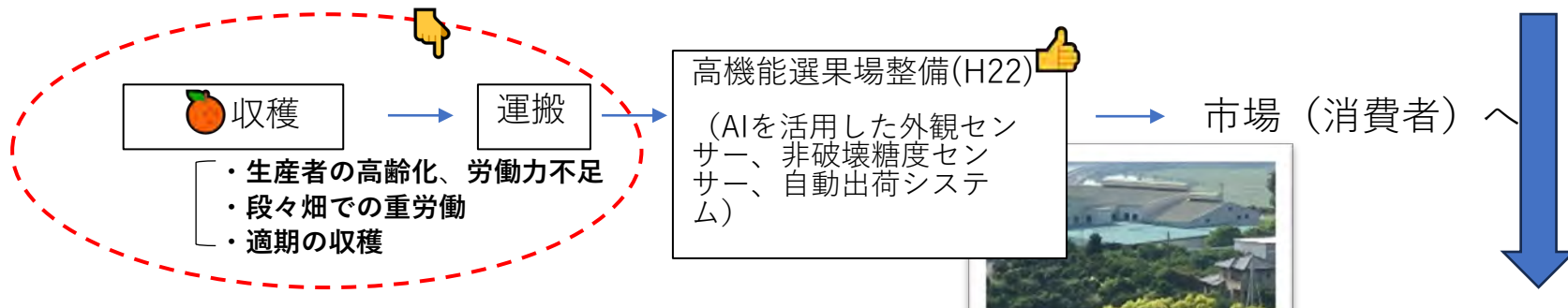
👍熊本市の金峰山の西側の山腹一帯に広がる石垣の段々畑は、排水が良好で有明海に面して日当たりが良い、県内屈指の温州ミカンの産地※

※一説によると、河内地方のミカン栽培の歴史は、二百年近くになると言われている
近年、熊本県のミカン生産量は、静岡県に次ぐ全国第4位、全国シェアも1割超え

👍JA熊本市では、平成12年までに分散していた選果場を1カ所に統合、さらに、平成22年にはAIを活用した外観品質や非破壊糖度センサーとともに自動出荷システムを導入し、高機能な選果・出荷体制を構築済み。消費者からより信頼されるブランドに前進

👉課題の一つは、全国同様に後継者不足と労働力不足。急傾斜の段々畑での収穫作業や20キロを超す収穫コンテナの運搬、トラックへの積み下ろしは重労働

👉さらに、ミカン是比较的貯蔵が効く果物でありながら、収穫時期を逸すると皮浮きが発生し品質が大きく低下。適期の収穫が極めて重要



東急建設九州支店では、産地の維持と消費拡大の促進を目的に、熊本県の‘農人ボランティア’の仕組みを使って、令和4年から継続的に収穫作業を支援

収穫作業の支援状況



収穫



運搬



積み込み



休憩時間は農家との貴重な意見交換の場



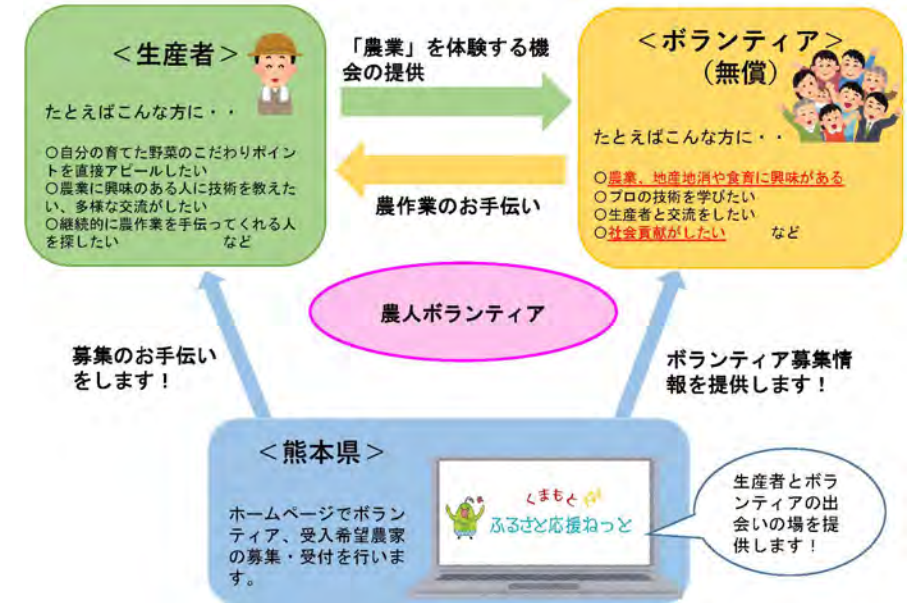
予定エリアの収穫を終え安堵の農家と社員

○支援受入農家は、歴代のミカン専門農家で労働力は**60代**の夫婦2人のみ。急傾斜地で重いコンテナ箱の人力運搬が伴う収穫作業は特の重労働、さらに、アルバイトの確保が厳しく収穫期間も限定される中、農家から感謝の言葉を頂いた。
 ○作業休憩時の意見交換では、栽培管理の大変さ、後継者問題、地域の農業の問題などに話がおよび、生産者への理解が深まるとともに、食への関心が高まった。
 ○農業の実体験と生産者との交流が深まったことで、弊社の継続的な支援活動として定着した。

更に

○弊社の支援後、この支援活動の情報を県内のグループ会社（世紀東急工業、東急**REI**ホテル）にも提供、弊社単独の支援に加え、グループ会社が協力して行う支援活動に波及し支援をスタートさせた。

熊本県「農人ボランティア」の仕組み



図の出典：熊本県HP「農人ボランティア」より引用・加工

手伝いを必要としている農家と農業ボランティアに興味がある人（団体）それぞれが県に登録し、県が条件がマッチする者同士を結びつけてくれる仕組み

②熊本地震復興イベントで南阿蘇村と協定を結び地域農産物を販売

○甚大な人的被害、社会インフラなどへの被害を発生させた平成28年4月の熊本地震では、地震で落橋した阿蘇大橋にほど近い場所にある南阿蘇村の阿蘇東急ゴルフ場も、クラブハウスの全損やコースの地割れなどの被害が発生し閉鎖

○地域の助けを借りながらの懸命な復旧の結果、ようやく平成30年7月に全面営業再開にこぎ着けた

○ゴルフ場の復旧を支援してくれた地域への感謝と熊本地震からの復興を祈念するため、ゴルフ場を会場にグループ各社の協力の下、令和元年から毎年地震発生の4月に、ゴルフ場を終日無料で開放して「熊本地震復興イベント「阿蘇東急でアソぼう♪」」を開催

○イベントでは、復興パネルの展示、防災車両の展示、コースをピクニック広場として草スキーなどに開放。毎回、南阿蘇村内外から2千人～4千人が来場



復興をより後押するため、東急建設九州支店は、令和5年3月に南阿蘇村と「地域農産物の消費拡大に向けた連携協定」を結び、村と協力して「南阿蘇みなもと」を出店、地域農産物等をPR販売

ゴルフ場の地震被害



コースは地割れが発生



1 m超えの陥没やクラブハウスの全損

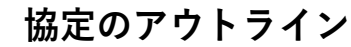
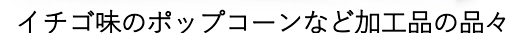
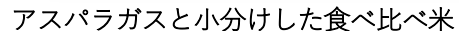
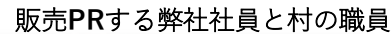
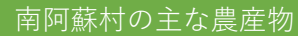


大成建設株式会社HPより ※一部編集

震災からの復興祈念、地域への感謝

後援：南阿蘇村、国土交通省
ほか熊日新聞・熊本民放各社

春が旬のアスパラガス、冷たく清らかな阿蘇の水で育てた有機栽培の
食べ比べ米、南阿蘇で生産加工されているイチゴ味のポップコーン、
かりんとう、生姜シロップ、味噌やタレなどを販売



消費拡大連携

南阿蘇村

東急建設

販売・PR

何を売るかや商品の調
達等に関する調整
諸届けに関すること

人的支援やPRに関すること
その他出店調整（無償）

行政の振興方針に沿う活動となるよう村と協定締結

生産者

公社

小売

その他

地域農産物の消費拡大に向けた連携協定書

西村藤村（以下「藤」）といふ）と東急線株式會社の西武店（以下「乙」）といふ）は、
 のちのち西武商店（以下「西武店」といふ）を創設する。

第一巻 本誌定は、甲と乙が通達し、地域農産物の消費拡大を推進することや、より一環

第二條 甲と乙は、貿易の目的を達成するため、次の事項について相互に提携・協力する

②甲の指定する地域産物の生産に関する事項
③その油相互が必要と認める事項

第三條 甲と乙は、前項に準拠し協力するにあたり、それぞれが次の役割を担うものとす。
なお、それぞれの役割の詳細については、案件に応じて、第四條の派遣要請書に
て当該役割を定めるものとす。

乙、観光関連機会に関する情報提供及び支援、並びに広報に関する協力

乙：貴店採購款式為九洲分店 款式號數可

第五条 本協定に定めなき事項、または監督が生じた場合は、甲乙丙が協議するものとす

(編定: 1998年)

但し、当該定款の規定は、当該定款の施行の日から1年とする。ただし、新設された日の翌日以前までに年及び月いずれからも申し出がない時は、さらに1年間で更新されるものとし、その後と同様とする。

金貨等の類紙の目として、本頁を透を形成し、甲、乙記号押印の上、第1透を保存する。

2023年 3月 27 日

附刊第1卷 西元一

© 2000 Blackwell Science Ltd *Journal of Internal Medicine* 247: 399–405

橫濱市農業改良所 編輯

○阿蘇の大自然が満喫できる環境下で、地域の農産物等を直に見せ販売することで、PR効果を上げられた。